

ピア・ネット・マンスリーの発行について

ピア・ネット・マンスリーは各団体の活動状況に合わせて定期的に発行していきます。《ピア・ネット事務局》

【ピアネット合同企画】

「学び場ガイド」を発行しました。

新入生を対象に市ヶ谷、多摩、小金井の3キャンパスにおける「学び」を総合的に紹介する「学び場ガイド」(A4判、全38頁、発行部数約1万部)を発行しました。「学び場ガイド」は以前より発行していた「学習施設ガイド(学生目線を取り入れた学習施設紹介)」「ピアネットガイド(ピアネット紹介、学生スタッフ活動の紹介)」を合冊したものとなっており、内容もリニューアルされました。

作製にあたり「学び場ガイド」作製プロジェクトを立ち上げ、46名の学生が作製に携わりました。編集にあたり、“新入生目線でわかりやすい内容にしよう”

“シンプルで見やすさ重視にしよう”など学生目線が全面的に生かされています。

参加した学生からは「自分の作ったものが形になり、色々な人の目に触れるってすごく嬉しい」「取材先から感謝の言葉をいただけたのはとても嬉しかった」という感想が寄せられました。



学び場ガイド(表紙)



研修の様子



【学習ステーション】

「今年も新入生サポートを実施しました」

学習ステーションでは、新入生が充実したキャンパスライフをスタートできるよう、毎年「新入生サポート」を実施しています。

4月1日(土)～4月14日(金)の3週間(8日、9日は除く)にわたり学生センター前に特設のブースを設け、学内施設や時間割の組み方、サークル活動や大学生活など、新入生の様々な質問に対応しました。ガイダンスや授業開始日が早まったことにより、時間割の組み方の質問が増えました。初めてサポーターとして活動する学生スタッフは、当初はぎこちなく戸惑う場面もありましたが、新入生への対応を重ねていくうちに、自分たちの当時の姿を重ね合わせて親身に向かい合い、最後は先輩として堂々とアドバイスすることができました。2,200名超の新入生と接することができ、学生スタッフ自身も一回りの成長を実感できた12日間でした。



時間割の組み方などの質問でブースが賑わいました



また、4月11日(火)には、ボアソナード・タワー26階スカイホールにて、新入生サポートの「有名教授に会おう！」プロジェクトの企画により、「大学ってどんなトコ?～あなたのお悩み解消するわよ～」と題した講演会を開催しました。

法政大学の特徴とサポート体制について、また、世界から大きく遅れをとる日本の教育の現状などを国際的な視点からお話し頂きました。

また、有意義な学生生活を送るにあたって、「本学は充実した留学制度をはじめ、チャレンジできる環境が揃っている。海外に出て、そこから学び広げていくことも大切だ。」とお話しされ、参加した新入生達の心に響いたようです。

最後に新入生達が、これから大学生活を送るうえで感じている不安や疑問を直接質問、尾木教授は一つ一つの質問に寄り添い丁寧に回答してくれました。参加した新入生からは、「法政大学での学びの姿勢をもう一度考えることができた。自らの意志を持ち、自由を生き抜く人間になれるよう4年間を充実したものにしていきたい。」「法政大学に来て本当に良かったと感じました。色々なことに興味を持つ、広い視野を持つことの重要性に気づかされました。」など、力強い意見・感想が寄せられました。



新入生に力強い言葉を投げかける尾木直樹教授



企画から当日の運営を行った学生スタッフ



【ボランティアセンター】

「東北・熊本震災復興支援募金」を実施しました。

東日本大震災発災から約6年、熊本地震から約1年となる3月10日に、ボランティアセンター学生スタッフ「チーム・オレンジ」が中心になり、「東北・熊本震災復興支援募金」を実施しました。この活動は今年で6回目となります。

昨年に引き続き法政大学の学生だけでなく、付属高校（法政大学女子高等学校）の生徒と共に総勢30名で行いました（大学生25名、高校生5名）。天候に恵まれ、春めいた陽ざしの中、飯田橋駅前2ヶ所と市ヶ谷駅前2ヶ所の計4ヶ所で募金活動を実施しました。

学生が呼びかけをしている中、足早に過ぎ去っていく人、子供の手をひきながらも募金をしてくれる人、帰宅途中に募金をする学生などの様々な姿がありました。学生達が夕方まで声をはり上げ募金を呼びかけた結果、募金金額は合計で163,448円となりました。

これを4等分（40,862円）し、3月13日に岩手県・宮城県・福島県・熊本県が設置する復興支援義援金口座に全額寄付をいたしました。

募金活動の後、募金活動を行った各グループで、「募金活動を通じて気づいたこと、感じたこと」、「募金活動はいつまで続けられればいいと思いますか?」、「あなたが被災地のために多額の予算を使える権限があるとしたら、どのようなことに使いたいですか?」という3つのお題についてディスカッションを行い、話し合った結果を各班5分で発表を行いました。

ディスカッションで挙げられた参加学生の声

- ◇募金という形にこだわらず、復興支援について学生としてやれる事をやっていきたい。
- ◇募金を行うことで、改めて被災地支援について考えるきっかけになった。
- ◇被災地では高齢者が増えており、年齢の若い住民を増やすことが課題になっているので、イベントの企画や新しい作物の生産や観光スポットを作るなどしたい。



市ヶ谷駅前の募金活動



グループディスカッションをした内容をまとめる様子

【課外教養プログラム（学生センター）】

4月4日（火）、4月6日（木）、多摩キャンパスにて学生センター・課外教養プログラム「多摩キャンパスツアー～発見!?多摩キャンパスのヒ・ミ・ツ～」を実施しました。

当プログラムは、「新入生に多摩キャンパス内の施設について知ってもらい、自分なりの活用法を考えてもらうきっかけにすること」と「新入生の交流関係を築くきっかけにすること」を目的とし、約60分をかけて、学生スタッフが広大な多摩キャンパス内の施設を案内しました。ツアーのはじめには、スタッフと参加した新入生それぞれで自己紹介を行い、そこから交流のきっかけづくりをすることができました。

キャンパスツアーに参加した新入生からは「まだ行ったことのない場所に行くことができ、よかった」

「学生目線で施設について知れてよかった」という感想をいただきました。



キャンパスツアーの様子



【FD推進センター】

「学生FDスタッフを募集します！」

学生FDスタッフは、大学教育・学生生活を主体性のあふれる充実したものにしていくために、「学生が選ぶベストティーチャー賞」をはじめ、授業の質の向上に向けた取り組みや学生生活の充実に向けたアクションを推進していきます。学生、教員、職員の三位一体で法政大学をより良くしていきませんか。

全国的な大イベントである「学生FDサミット 2018春」は2018年3月8日～9日に本学で開催することになりました。

一緒に創っていきませんか！



学生FDスタッフ大募集



【編集後記】

新年度がスタートし、ピアネットの各ユニットも気分新たに活動を開始しました。昨年に引き続き2017年度も多くのピアネット活動を報告させていただきます。

ピアネット・マンスリーについてのご感想をお待ちしております。 法政大学 学務部 教育支援課（学習ステーション） 03-3264-9071